



朝の京都盆地の冷え込みは  
身体もはなが温まらず  
ですが、やはり今年も暖冬  
陽が出ている間はポカポカと

豊年の兆しとして降る雪のこと。  
昔から、雪の多い年は豊作だと言われてき  
ました。

「豊」はもちろん、豊かなこと、満ち足りて  
いることを表す言葉。

「豊」という語感だからでしょうか、  
心もやさしく満ちていくような響きがありますね。  
今年のねぎの豊作を祈ります。

コロナ禍に悩まされ、終息が見えずにもうすぐ1年。  
弊社では常日頃の感染対策を実施、気を張りながら取り組  
み、スタッフも健康に気遣いながら業務を行っております。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます  
ことねぎだより

NO.165

2021年2月号  
TEL: 075-601-0668



## 今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を  
少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

### 一番美味しい時期の冬葱のお届け

2月は、京都市・亀岡市で収穫したねぎをお届けします。  
今年はラニーニャ現象の影響もあり、1月はとても冷え込  
みました。その為、亀岡市では降雪・霜、京都市でも霜  
が降りて、朝の段階ではねぎが凍り、溶けて収穫できるのが10時過ぎになることが  
連日続きました。霜害で、葉先が黄化しやすくなっています。少々、見た目が悪い  
部分もあるかもしれませんが、これだけ霜が降りたので味・美味しさには自信あり。  
最適な収穫のタイミングを見極め、旬の美味しさをお届けいたします！



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

## 雪の課題を乗り越えお届けする冬葱

凍って、溶けてを繰り返すと葉折れしてしまい細胞も壊れるため  
先から徐々に枯れていきます。そういったことにならないよう、  
今年もビニールの被覆をしていましたが、氷点下になるとその甲  
斐もなく、ほとんどの圃場で葉折れを起こしました。また、凍っ  
た状態のねぎに誤って触れると、ポキッと折れてしまいます。  
農人たちは、より丁寧に圃場作業を行い、ねぎを傷つけないよう  
に日々の業務をこなしました。畑の雪景色という四季を感じ心  
踊るものの、地道で時間をかけないといけない部分があるので

## 旬の極太ねぎ！

今季(畑)に太いねぎが育ちました！



今年も白ねぎ生産頑張ります！



雪の影響で、先の方  
が折れてしまった状態  
とてもデリケートで、  
扱いが難しいですが、  
これだけ霜が降りたね  
ぎはや、ぱり美味しい！



忍耐力を鍛えられます。  
また、春にむけての準備  
は、例年より1か月早く  
圃場整備を始めました。  
この冬からトラクターに初めて乗ったりする  
農人が多いので、先輩に教わりながら、徐々  
に機械にも慣れていきます！



静岡の藤枝メンバーたち